令和2年度 第3回東淀川区区政会議本会 会議録

1 日 時 令和3年3月23日（火）19:00～20:05

2 場 所 東淀川区役所3階 区民ホール

3 出席者の氏名

（区政会議委員）

堤下 哲也議長、岩本 敬子委員、植原 孝廣委員、上尾 敏雄委員、小川 恵司委員、奥田 博美委員、川崎 敦弘委員、黒木 智之委員、佐野 一廣委員、新庄 聡美委員、高瀬 恒美委員、建部 久美委員、床田 淳子委員、富岡 淳子委員、長野 秀子委員、濱田 和巳委員、東田 卓也委員、藤野 進委員、堀 智佐子委員、前川 誠二委員、眞継 義博委員、門田 宏委員、山内 泰典委員、山下 英治委員、矢森 茂一委員、行澤 嘉晃委員、吉田 智子委員、渡邊 美穂委員、

（府議会議員）

笹川 理議員

（東淀川区役所）

西山区長、宮腰副区長、川上総務課長、岡田総合企画担当課長、前田地域課長、松並企画調整課長、畠山窓口サービス課長、原保健福祉課長、北山子育て企画担当課長兼教育委員会事務局総務部東淀川区教育担当課長、奥野安全安心企画担当課長、井手保健福祉課長代理、三山地域課担当係長兼保健福祉課担当係長、風呂総務課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）令和3年度 東淀川区運営方針（案）

（2）令和3年度 東淀川区関連予算（案）

（3）区政会議に関するアンケート結果

（4）第2期東淀川区地域保健福祉計画

5 議事内容

○風呂係長 定刻となりましたので、ただいまより令和2年度東淀川区区政会議第3回本会を開会いたします。

委員の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます東淀川区役所総務課総合企画担当の風呂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議も新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで開催いたしますので、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、会議の終了時刻は午後8時を予定しております。

それでは、初めに、区長から一言ご挨拶申し上げます。

○西山区長 皆さん、こんばんは。本日はお忙しい中、今年度も最後になってしまいましたが、今年度最後の区政会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日は、緊急事態宣言が解除されていることを踏まえまして、集合形式で開催させていただきます。ただ、まだまだ下げ止まりと言いますか、警戒が必要な状態が続いておりますので、本日の会議も感染予防対策を十分に取らせていただいたうえで開催させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、本日はお手元の次第にもございますが、議題が4件ございます。令和3年度東淀川区運営方針（案）について、これは、先に説明動画を配信させていただきました。これはちょっと試しにやってみようということで、事前に見ていただいてご意見をいただけたらと思ってさせていただきました。

また、11月、12月の部会、本会でいただいたご意見も盛り込みまして、素案から修正をかけて参っております。

また、第2期東淀川区地域保健福祉計画をいよいよこの3月に策定したいと思っております。来年度以降、5年間の保健福祉分野の施策に関する基本計画ということでお示しさせていただきます。担当よりご説明させていただきます。

限られた時間ではございますが、皆様方の忌憚のないご意見をいただきまして、より良いものに仕上げていきたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○風呂係長 本日もご出席の府議会議員のご紹介をさせていただきます。

笹川議員です。

○笹川議員 お世話になっております。本日もよろしくお願いいたします。

○風呂係長 よろしくよろしくお願いいたします。

では、本日の定足数を確認いたします。

本日は25名の委員にご出席いただいております、委員定数37名の半数以上でありますので、この区政会議は有効に成立していることをご報告いたします。

続きまして、事務連絡をさせていただきます。

本日の議事につきましては、発言者の氏名と発言内容を記載した議事録により後日公表させていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。議事録の案ができ次第、本日発言いただきました委員の皆様にご確認いただきたいと思います。後日文書をお送りさせていただきます。

また、会議の様子について写真撮影をさせていただき、ホームページや広報紙などに掲載させていただきますので、よろしくようお願いいたします。掲載に当たり、不都合がある方は事務局までお知らせください。

続きまして、お手元の資料について確認させていただきます。

本日の議事次第と配席図を机の上に配付しております。あと、先日郵送させていただいております資料をご持参いただいておりますでしょうか。

また、先日郵送させていただきました送付資料2「令和3年度東淀川区関連予算（案）概要」に修正がありますので、送付資料2の3枚目「令和3年度東淀川区関連予算（案）の算定状況の概要について」お手数ですが、机の上に配付しております資料と差し替えをお願いいたします。資料は全てそろっておりますでしょうか。

それでは、ここからは堤下議長に進行をお願いいたします。

○堤下議長 皆さん、こんばんは。本会議長の堤下です。

会議の終了時間が20時頃となりますので、ご協力よろしくようお願いいたします。

最初に、本日このあとの会議の流れについて簡単に説明します。

まず次第の4つの議題について、区役所から説明をしていただきます。

すべての議題についての説明が終わりましたら、全体を通して各委員の皆様からご意見をいただき、区役所から対応方針等を説明していただくという流れでいきたいと思っておりますのでよろしくようお願いいたします。

なお、会議に先立ち、区役所から配信された、議題（1）令和3年度東淀川区運営方針（案）の説明動画に対する事前意見の提出はなかったとのことですので。

それでは区役所の方から資料説明をお願いします。

○岡田総合企画担当課長 皆さんこんばんは。区役所の総合企画担当課長の岡田と申します。

私の方からですね、議題の（1）から（3）まで説明させていただいて、そのあとの（4）については保健福祉課長の原から説明させていただくという流れで説明させていただきますので、よろしくようお願いいたします。

それでは右肩にですね、送付資料1と書いております「令和3年度東淀川区運営方針（案）概要版」の資料について説明させていただきます。

先日ですね、説明動画を配信させていただきまして、変更箇所等を説明させていただいてその内容をお聞きいただいていることかと思っております。2ページ以降見ていただきますと、素案の

段階の内容から変更した部分を太字と下線で示しております。

また、区政会議の委員の皆様からいただいた意見もですね、反映した部分についてはその旨を吹き出しで記載しているところがございます。

この概要版の資料につきましてはですね、すでに（素案）の段階で内容を一通り説明させていただいております、また先日の説明動画を配信したところがございます、変更箇所に関する説明はそちらでさせていただいて、お聞きいただいているかと思っておりますので、この資料の説明は以上にさせていただきます。

続きまして、送付資料2、右肩に送付資料2と書きました「令和3年度東淀川区関連予算（案）概要」という資料をご覧ください。資料のほう、大丈夫でしょうか。

この資料につきましては、これまでのこの区政会議において説明させていただいた運営方針の考えをもとにですね、来年度の予算（案）を編成した内容を簡単に概要としてお示しさせていただいているものがございます。現在、大阪市の市会の方が開会中でございます、そちらに上程しまして予算案については審議いただいているところがございます。

1 ページ目ですね下段をご覧くださいますと、区長自由経費、これは区役所の方で事業執行するものですが、約4億7,000万円。ちなみにこれは令和2年度と比べると約2,500万円の減というふうな金額になっております。区シティマネージャーの自由経費、これは関係局によって事業執行するものですが、これは約8億7,000万円ということで、これは今年に比べると4,000万円の減というような数字になってございまして、総額約13億4,000万円の予算案として、計上させていただいているところがございます。

裏面を見ていただきますと、東淀川区としてですね、重点的に取り組む事業を掲載してございます。5つ掲載してございまして、事業名、予算額に合わせて、右の欄に事業の概要と工夫点を記載しているのです、各委員さんそれぞれでご確認いただければと思います。

その次のページ以降もですね、各事業ごとの予算額など細かい数字を記載しておりますので、また各委員さんの方でご確認いただければと思っております。資料2については以上です。

その次です。送付資料3、右肩に送付資料3と書いたA3の大きい紙です。

「令和2年度東淀川区区政会議に関するアンケート調査結果について」という大きい紙、ございますでしょうか。こちらの資料の内容について説明させていただきます。委員の皆様にはアンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。今般ですね、集計結果がまとまりましたので、この資料によって説明させていただきます。

上2つがですね、会議の中で活発に意見交換ができていますか、ということの集計結果になります。

その下2つが、委員からの意見に対する区役所からのフィードバックがきちんとできていますか、というような内容になっております。見ていただくとわかるとおり、いずれもですね、

肯定的な回答の数値が、昨年度から減少している、あるいは横ばいというような形になっております。この点に関して一番下にですね、考察を書かせていただいたところですが、新型コロナウイルスの影響がこの区政会議の運営にもやはり及んでおまして、会議時間の短縮でありますとか、Web会議をやってみたりということで活発な意見交換、フィードバックができなかった結果もここに表れてるかなというふうに区役所としては推察をしております。この点につきましてですね、新型コロナウイルスの影響は、今後もまだ続くとは思いますが、今回やってみた説明動画配信などですね、新たな手法も含めてですね、委員の皆様のご意見をお聞きしながら、効果的かつ効率的な運営に今後も取り組んでいきたいというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。

資料めくっていただきまして、次のページからは、委員の皆様が記述の部分でいただいたご意見をまとめております。一番の会議資料についてはですね、一方で資料が多過ぎるという意見がある一方で、もっと詳細な資料が必要かと、両方の意見をいただいたところです。これに対しまして、必要最低限の資料については今後も簡潔にする一方で、詳細な資料とか、事業概要等についてはですね、ホームページの掲載場所を情報提供させていただくなど、どちらの意見にもお応えできるように、対応して参りたいというふうに考えております。

真ん中あたりの2番の知識・情報習得の機会の確保については学習会の開催要望など積極的なご意見を大変たくさんいただいております、ありがたく思っております。今後もですね、ご希望されるテーマをお聞きしながら、Web会議の方式も含めて、学習会を開催しまして、施策や事業についてですね説明動画配信でありますとか、ホームページの案内など、情報共有に取り組んで参りたいというふうに思っております。

そのページ一番下です。区政会議の議題とか、テーマ設定についてもですね、何点か提案をいただいておりますので、委員の皆さんのご意見を伺いながらですね、テーマを設定して効果的な会議運営をしていきたいというふうに思っております。

次のページに移ります。区政会議の会議の進行についてもご意見をいただいております、委員の皆様への発言の求め方ありますとか、時間配分などについて、ご意見をいただいておりますので、これもご意見を伺いながらですね、効率的な会議運営を実施しまして、その下中段あたりではですね、他部会での議論内容の共有が、もう少し必要かなというご意見もいただいておりますので、部会間ですね、やりとりの情報共有をですね、事務局としても工夫していきたいというふうに思っております。

ページめくっていただきまして、次のページの5番ですね。委員ご自身の方が、出された意見に対するフィードバックについて、様々ご意見をいただいております。上半分がですね、フィードバックはちょっと物足りないなというご意見でございまして、本日の資料の概要版にも委員さんの意見反映した部分を明記させていただきましたけども、今後もですね、意見反映

した箇所については資料に明示して、見える化したいと思えますし、会議時間に制約がある中ではございますけども、書面でのフィードバックに加えて、意見反映した事業内容をこの会議の中で報告させていただきたいというふうに思っております。

最後のページ、6番につきましては、委員さん個々のご感想でありますとかというものを記載しておりますので、またご確認いただければと思います。

今後も区政会議をより有意義なものとするように、事務局としても努めて参りたいというふうに思っておりますので、引き続きご協力をいただきますようによろしくお願いいたします。

私からの説明は以上です。

○原保健福祉課長 皆様、こんばんは。保健福祉課長の原と申します。座って説明させていただきます。

平素は保健福祉行政にご理解・ご協力いただき、まことにありがとうございます。

私の方からは第2期東淀川区地域保健福祉計画につきまして、ご説明をさせていただきます。

東淀川区では、「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりを区の目標として掲げまして、地域コミュニティの中で人と人がつながりを深め、こどもから高齢者までの誰もが、健康で心豊かにいきいきと暮らしていけるまちづくりを進めております。

この目標を実現するために、地域の福祉、保健、子育てなど様々な分野の総合的な計画として、第1期の「東淀川区地域保健福祉計画」を平成28年12月に策定しております。この第1期計画では、「自助」、「共助」、「公助」の考え方を基本に、地域住民、地域団体、行政が一体となって地域の保健福祉を推進していこうという計画となっております。第1期の計画期間は平成28年度から令和2年度までとなっておりますことから、令和3年度以降の新たな計画、「第2期東淀川区地域保健福祉計画」の策定作業を今年度進めてまいりました。

第2期計画の策定にあたりましては、今年度の早い時期に地域の皆様のご意見を直接お伺いし、その内容を踏まえて第2期計画の策定を進めていきたいと考えておりました。しかしながら、皆様ご存じのとおり、昨年4月7日に新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出され、その後も感染状況が収まらないため、直接、地域の皆様のお声を聴くことが難しくなっていました。区役所としましては、計画を策定するために、できるだけ区民の方々のご意見をお伺いしたいと考えていたんですが、策定のスケジュールなども考慮し、地域の方々のインタビュー調査については断念することになりました。その代わりに、大阪市福祉局が令和元年度に市民向けのアンケート調査を実施しておりましたので、その調査結果を分析し、それをもとに第2期計画の策定を進めていくという手法で作業を行ってまいりました。

現在、策定作業は最終段階に入っております。策定した素案について、2月10日から3月9日までの間にパブリックコメントを実施いたしました。パブリックコメントでいただきましたご意見について、素案に反映をさせ、計画を完成させていこうと考えております。

今後のスケジュールとしましては、年度末のギリギリになってしまいましたが、今月末を目途に計画書を公表する予定で作業を進めております。

本日は、皆様のお手元に、パブリックコメントを実施した際の第2期計画の概要版をお配りしておりますので、この概要版で第2期計画の基本的な内容をご説明させていただきたいと思っております。

送付資料4の第2期東淀川区地域保健福祉計画素案概要をお手元にご準備ください。

まず、最初のページをご覧くださいまして、1番として「計画の策定にあたって」となっております。ここでは、先ほどご説明させていただきました第1期計画の策定までに至る経過などが書かれております。

3つ目の黒丸に書いておりますとおり、今後ますます複雑化・多様化していく生活課題に対して適切に対応していくための総合的な計画として、第2期計画を策定していきます、ということが書かれております。

次に、2番の「計画期間」につきましては、令和3年度から令和7年度までの5年間としております。

3番に書かれておりますのが、この第2期計画の基本的な考え方である「自助」、「共助」、「公助」の説明となっております。国や大阪市もこの自助、共助、公助という考え方を基本として、これからの地域の保健福祉施策を進めて行かましようとしておりまして、当区でもこの考え方を基本として地域の保健福祉を推進していこうと考えております。この部分につきましては、第1期計画の考え方をそのまま引き継いでおり、第2期計画でもこの考え方を基本としているところです。

4番の「東淀川区の状況」となっておりますが、こちらは東淀川区に関する統計のデータとなっております。概要版ではスペースの関係もありまして、3つのデータしか載せておりませんが、2期計画の策定にあたってはこれ以外のデータも分析しておりまして、これらのデータと先ほどご説明した福祉局が令和元年度に実施した市民向けのアンケート調査などをもとに、策定作業を進めてきております。

5番の「計画の基本理念」につきましては、大阪市が策定しております地域福祉基本計画と同じく、「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」を基本理念として策定しております。

次のページをご覧くださいまして、こちらは「施策の展開」となっております。先ほどの5番でご説明しました基本理念を実現していくためには、実際に区民の方や地域の団体、そして我々、行政が同じ目標をもって行動していくことが必要になってきます。第2期計画では、このための基本目標を3つ掲げております。このページと次のページにこの3つの基本目標が書かれております。

まず、1つ目の基本目標としましては、「助け合い・支えあえる地域コミュニティづくり」、2つ目としまして、「区民の困りごとを受け止める総合相談機能の構築と支援」、次のページに移りまして、3つ目の基本目標が、「地域力を活かした安心・安全な支え合いのまちづくり」となっております。

この3つの基本目標を達成するための具体的な行動目標を、基本施策と呼んでおります。基本施策は基本目標ごとに3つずつ設定しております。大まかな内容がこちらに書いてある内容となっております。

例えば、1つ目の基本目標の下をご覧くださいますと、基本施策1～3の3つの基本施策が書かれております。同じく基本目標2と基本目標3についても、それぞれ3つの基本施策を設定しております。お配りしている概要版では、計画書の内容をすべてを網羅できておりませんので、わかりづらいかと思いますが、実際の計画書では、まず今後の方向性を定めた上で、「区民が取り組むこと」、「地域で取り組むこと」、最後に「行政で取り組むこと」という形で、それぞれの立場に応じて具体的な行動目標が書いております。

今回は、まだ計画書が公表されておきませんので、詳しい内容につきましては、後日公表される計画書を是非ご覧くださいと考えております。

なお、実施いたしましたパブリックコメントでは、いくつかご意見をいただいております。例えば、「保健の分野についての内容が少ないのではないか」でありますとか、計画書の本文の内容が少し堅苦しくてわかりづらいのではないかというようなご意見も頂いております。いただきましたご意見につきましては、内容を整理しまして、素案に反映できるものは反映し、最終的に計画書を完成させていきたいと考えております。

本日は時間の関係もありまして、なかなか詳しいご説明ができず誠に申し訳ございませんが、公表される計画書につきまして、是非ご覧ください。地域住民、地域団体、行政が一体となって地域の保健福祉を推進していこうという当区の計画にご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○堤下議長 ありがとうございます。それでは、すべての議題に対して何かご意見はありますでしょうか？

○堤下議長 すみません。菅原地域、安全・安心部会の堤下です。

令和3年度東淀川区運営方針（案）に対する意見です。戦略4-1について、2点ございます。まず情報発信についてです。各地域での防災の取組を紹介する手段として、現状、Twitter、Facebookにより発信していただいておりますが、後日の検索がしづらい、利用者が限られるなどの課題もあることから東淀川区のホームページの既存フレームを利用して、例えば、訓練であるとか学習会など、カテゴリーごとに各地域の取組を紹介する方法も検討していただきたいと思っております。

2つ目が、地域特性に応じた避難所についてです。現状、小学校区ごとに避難所開設訓練を実施していますが、コロナ禍で収容人数が減少するという課題や校区の小学校が遠くて避難できないなどの実情もあることから、小学校区が異なる地域が合同で訓練などを実施していく必要があると思います。実災害時に小学校区を越えた連携協力が進むように、隣り合う地域などで合同の学習会などを実施してほしいと思います。以上です。

○奥野安全安心企画担当課長 ありがとうございます。安全安心企画担当課長の奥野でございます。先ほどの議長からのご意見につきまして、お答えさせていただきたいと思います。

まず、1点目の防災の情報発信の関係についてでございますが、各地域での防災の取組を情報発信し、地域間で情報共有することは防災施策の推進に必要なことであると認識しています。議長の意見を踏まえまして、現在ホームページ上に地域の学習会やあるいは防災訓練などのカテゴリーを立ち上げまして、随時、各地域で実施されました内容を掲載してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

そして、もう1点、各地域の合同学習会ですとか訓練の関係でございますが、この件につきましても、議長から先ほどご指摘いただきましたけれども、そういう取組というのは重要であると考えておりますので、区役所といたしましては、隣接の地域をまたいだ形での地域連携の学習会ですとか、あるいは訓練等を促すとともに、検討してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○堤下議長 他にご意見ございますでしょうか。挙手でお願ひいたします。

○植原委員 新庄地域の魅力あるまちをつくろう！部会の植原と申します。この送付資料2の「令和3年度東淀川区関連予算（案）概要」についてお聞きします。令和2年度と3年度を比べますと、予算額が大幅に増加している事業と減少している事業があります。その理由について説明をお願いします。特に「自助・共助を担う地域力のあるまち」についての30万6千円の増加。それから「にぎわいのある元気なまち」についての62万8千円の減少、それから「東淀川区西部地域まちづくり」についての105万8千円の増加、それから「第2期東淀川区地域保健福祉計画策定業務」についての349万6千円の減少、それから、次のページの「区役所附設会館管理運営費」の121万5千円の減少、「区庁舎設備維持費」の822万5千円の減少、それから「一般事務費」の573万4千円の増加。これら事業の増減の理由について説明をお願いします。さらに、「職員力向上プロジェクト」については、236万5千円も減少になっていますが、職員の資質向上等を勘案しますと、これだけ減らされるのはどういう理由なのか特に聞きたいです。それから「東淀川区4・5歳児就学前子育て相談事業」については、331万円の減少になっています。これはこの事業が無くなったということですか。さらに通し番号38、39、40、41についても、予算が計上されていませんが、その理由についてもお聞きしたい。

それから予算について、各事業ごとにトータルの予算額が書かれていますが、トータルでは

なくて事業個々の内訳はどうなっているのか、その説明もしていただければと思います。

例えば、「地域活動協議会を中心とした地域活動への支援」について、7,715万3千円の予算がついておりますが、事業ごとの内訳はどうなっているのか。その中で、「地域活動協議会の補助金交付」について、いくら計上されているのか、お聞きしたい。

今後、重要事業の予算額については、紙面の節約もあろうかと思いますが、トータルでなく個々の内訳についても記載をお願いします。以上です。

○川上総務課長　こんばんは。予算を担当しております、総務課長の川上です。

まず予算全体の考え方ということで、ご説明をさせていただきます。ちょっと座って説明させていただきます。あの、最後にご意見いただきました、それぞれの事業名ごとの内訳ですね、それぞれの事業ということで、全部資料を提示しますと相当な量になります。予算要求段階のものということと、予算案という形でホームページに一覧表を記載させていただいているのですが、その事業名をクリックしていただきますと、それぞれの事業の中にあります、例えば先ほど例を挙げていただきました、地域活動の関係ですと、どのような地域活動にいくらずつの予算要求をしておるかというのが出てきますので、それぞれ具体の事業の中身の予算の配分については、そちらの方をご覧いただきたいというふうに思っております。

まず、総務課関係で先ほどご質問がありましたところのご説明をさせていただきますが、通し番号で言いますと、28番ですかね、「区庁舎整備維持費」の方で820万円ぐらい予算要求額が落ちておるとのことなのですが、こちらの方につきましては、今年度につきましては、トイレの改修等をしているのですが、来年度につきましては、そのトイレ改修等の大きな改修分がございませんので、予算額、要求額として下げておるという形になっております。3階のトイレにつきましては、4年度に改修をするために、来年度につきましては計画を作っていくまして、4年度に実際に工事をしていきたいというふうに考えております。

その下の29番、「一般事務費」の方ですが、こちらにつきましては、一般の事務用品等を購入しておる予算になっているのですが、間違っただけをお伝えしたらいけませんので、こちらの方は確認させてもらって、あとでご説明させていただきます。

あとですね、38番以降の事業についてでございます。こちらの方につきましては、3年度予算要求としては、しておらないという形になっておりますが、その内容につきましては、38番の「こどもの居場所」運営支援事業につきましては、地域活動協議会等の地域の運営の支援という中でこどもの居場所の運営支援をしていくということで、予算の方は今回落としておるところです。

39番、40番、「吹奏楽体験事業」と「学校教育環境整備事業」につきましては、学校に対する寄付をいただいております、その寄付に基づきまして、令和2年度の単年度事業ということで実施をした事業でございます、単年度事業ということでございますので、令和3年度は

予算要求をしておらないというものでございます。

41番の「区地域保健福祉計画に基づく地域の取り組みへの支援」ということでございますが、こちらにつきましては、来年度に区の地域保健福祉計画を策定するという地域がございませんでしたので、来年度予算を要求していないという形になっております。

「一般事務費」はあとでご説明させていただきますので、それぞれの他の予算のご説明をさせていただきますと思います。

○前田地域課長 地域課の前田でございます。

まずは地域活動協議会への補助金のお話があったかと思えます。地域活動協議会への補助金は17地域全部合わせまして、6,465万円を計上しております。それぞれの地域から一年間の活動計画をお出しいただき、それが補助金に見合うかどうかというのを審査させていただいたうえで、決定して交付をさせていただいているところでございます。

附設会館のお尋ねもございました。この「区役所附設会館管理運営費」は、この区民ホール、それと、東淡路の方でございます、区民会館、この両方を運営するための経費として計上しているところでございます。3年度に向けましては、区民会館の管理・運営経費のところを少し圧縮された形になってございます。これは区民会館の方は指定管理制度ということで、委託の方法が変わったということをお勘案して減額をしているところでございます。

4番「自助・共助を担う地域力のあるまち」は、地域づくりアドバイザー事業の部分で30万ほど上積みを見せていただいております。これは、運営方針のところ、皆様からも区政会議の方でもご意見をいただきまして、こういう世の中でもつながっていけるようにというような、新しいつながり方ですね、インターネットなんかを通じてつながっていけるような、そういうつながりづくりの支援をしようということで、新しい講座等もちょっと考えておりますので、その部分の経費が増えているということになります。

○原保健福祉課長 保健福祉課長の原です。私の方から先に説明させていただきます。

通し番号19番の「第2期東淀川区地域保健福祉計画策定業務」としまして、約350万弱、予算の方が減っているという理由につきましては、先ほど、第2期の計画の説明をさせていただきましたが、今年度中に第2期の計画の方の策定が終了予定にしております、この計画につきましては、業者の方に委託の方をしておりました関係で、その委託費の方が3年度については不要ということになりますので、大幅な減少となっております。

次に通し番号33番、「東淀川区4・5歳児就学前子育て相談事業」という事業の予算の方が、2年度の計上はあるんですけども、3年度は予算案の計上は0となっております。これにつきましては、別の事業の方に吸収して展開していくことになっておりますので、こちらの事業名では終了ということになっておりまして、0となっているんですが、別の事業の方で展開していきますので、就学前の切れ目のない支援ということ、ご心配いらないです。以上です。

○松並企画調整担当課長 企画調整担当課長の松並です。

6番の「東淀川区西部地域まちづくり」の予算が令和3年度、473万5千円ということで、前年より105万ほど増えているという話でしたけれども、本事業では西部地域バリアフリーまちづくり協議会の運営をしております、予算内容は、コンサルの委託料、運営経費と、あと学識経験者に対する報償金等が入っております。新大阪駅東口の市営住宅の建て替えが一定進みまして、余剰地が出てきます。この余剰地を含めて、新大阪駅東口のまちづくりビジョンを検討していくということで105万上積みさせていただいております。以上です。

○前田地域課長 すみません、先ほどご報告が漏れました、5番の「にぎわいのある元気なまち」の部分でございます。こちらの中には事業がいくつかございまして、一つはコミュニティ育成事業、例えば、大きなものでしたら区民まつりとかになります。その他にブロック塀の緊急対策工事というのがございまして、区の方で管理している土地のですね、ブロック塀を撤去するという事業、その他、BCP学びの場事業とかいうのもあるんですけども、今回減りましたのは、コミュニティ育成事業の部分を精査をいたしまして、少し減額をした部分とブロック塀の撤去事業が終了いたしましたので、その部分を減額したということでございます。

○川上総務課長 すみません、総務課長の川上です。

先ほど答えを延ばしました、29番の「一般事務費」なのですが、先ほどご説明させていただいた中で、備品の購入費ですとか、通信運搬費とかそういったものが主になるのですが、この中には会計年度任用職員の人件費に当たるのですが、経理上、物件費として計上しているものがございます。具体的に言いますと、本市職員を退職後に再任用する職員につきましては、人件費ということで計上しているのですが、それ以外、会計年度任用職員という方で採用されている方の報酬につきましては、物件費に入っております、一般事務費に入っておりますのでございます。来年度につきましては、今年度、再任用職員の方を一人、会計年度任用職員に変更するというので、その額がここに加算されているということになっておりまして、総額で500万余りの増ということになっております。こちらの方は以上でございます。

ご質問いただきました項目につきましてはすべて網羅されておりますかね。抜けているところがありましたら、よろしく申し上げます。

○植原委員 どうもありがとうございました。それと、これはお願いなのですが、予算額が前年度に比べて大幅な増減があった場合は、備考欄にその理由をコメントしてもらえると、よりわかりやすいと思います。

それから、先ほど事業名ごとの内訳については、ホームページに記載してますという説明がありましたが、それであればその事をこの資料の枠外にでも記載していただければと思います。そうすれば、事前に内訳を調べることができたと思います。資料はできるだけ懇切丁寧に作成していただきたいと思います。

それからもう一点お聞きしたいことがあるんですが、今年度も区域内に防犯カメラの設置を予算化してもらっておりますが、令和3年度における台数等について、どういう考えのもとで予算計上されたかお聞きしたい。区域内には地活協が17ありますが、どの地域についても防犯カメラは必要であり、要望も多いと思います。しかし、予算に限りがありますので、どうしても優先順位等は決めざるを得ないと思うんですが、今年度の予算計上にあたって、留意された点などについて、説明をお願いします。以上です。

○奥野安全安心企画担当課長 安全安心企画担当の奥野と申します。

先ほどの防犯カメラの質問でございますけれども、防犯カメラにつきましては、どうしても予算の中でというところでございます。来年度につきましては、7台の防犯カメラを設置する予定としております。ただ、場所につきましては、警察とも協議しながら決めていっておりますので、どこどこの地域ということではございませんけれども、警察との協議の中で、場所を決めておりますので、どうぞよろしくお聞きしたいと思っております。

○川上総務課長 総務課長の川上です。先ほど、区政会議の資料のあり方ということでご意見をいただきました。冒頭に説明をさせていただきましたように、できる限り区政会議の資料は簡素化をするとともに詳しくはホームページでということでご説明させていただいたんですが、確かにご指摘のとおり、配付をさせていただきます資料の備考欄の活用ですとか、より詳しいことはここをこうすればご覧いただけますというような案内も今までございませんでしたので、次回以降、そういう資料につきましては、資料を見ていただきますとわかるように変えていきたいと思っておりますので、よろしくお聞きいたします。

○堤下議長 はい、ありがとうございます。

その他、意見ございませんか。大丈夫ですか。

○植原委員 私ばかり質問して申し訳ないんですが、最後にもう一点お聞きいたします。

「防犯意識が高いまちづくり」の中で、効果的な夜間青色防犯パトロールの実施が業務委託されていますが、この委託費はいくら予算計上されているのか、お聞きしたい。

○奥野安全安心企画担当課長 安全安心企画担当課長の奥野でございます。

夜間の青色防犯パトロールの方につきましては、業務委託ということで民間業者の方に回っていただく形の業務委託をさせていただいております。予算としましては約280万円ほどで予算計上させていただいているというところでございます。

○植原委員 どうもありがとうございます。

○堤下議長 その他、意見ございませんか。

○山下委員 すみません、公募の山下と申します。私は防災のことしか知りませんが、取組で、地域特性に応じた避難所開設体制の構築ということで書かれておるんですが、去年、今年とまだコロナがいつ収束するかわかりませんので、避難所開設というのも従来の避難所開設

と現在の避難所開設とは全然違います。その辺の指導の仕方いうんですかね、どういうふうな指導をされているかと、区としてコロナ対策の避難所等を含めてどういような体制づくりをしていっているのか、この辺のそこを聞かさせていただきたいと思います。

○奥野安全安心企画担当課長 安全安心企画担当課長の奥野でございます。

先ほど、コロナにおける避難所の関係ですけれども、これにつきましては従来、いわゆる一般受付という受付があったわけでございますけれども、それを、熱症状ですとか咳症状があるかどうかということを事前に受付をしたうえで、熱症状がある方、それから症状がない方を分けて、避難スペースに誘導するという形をとらせていただいております。その中でどうしてもコロナということもございまして、避難スペースにつきましては、ソーシャルディスタンスを取りながら避難所開設をするというところでございます。

体制といたしましては、特に従来と同等ではございますけれども、従来どおり職員を派遣するとともに、地域の方が駆けつけて避難所を開設するというようにさせていただいているところでございます。以上です。

○山下委員 それはわかってるんですけどね、これは区役所としての意見であって、これが17校区の代表者がそういうのを知っておられるのか、そういうのを指導されているのかというのをお聞きしたいんです。今、言われたように避難所開設というのは、私はいつもやってることなんで、地域でそれが実際に動かすことができるか、これはできてないと思います。その辺のこの取組を来年度してもらわなかったら役所がなんぼ避難所開設、開設と言っても、校区の代表者がそこに来て指導できるか言うたらできへんと思います。その辺の下準備とか、そういうのもやってもらわなあかんと思うんですけど、それと、避難所開設訓練でも、このコロナの避難所開設がいつまでするんや、従来の避難所開設にいつ移行するんや、とかね、そういうのをわからないと、避難所開設したってこんがらがらばっかりで、まだコロナが収束できませんので、最近、地震も多発してますんで、大阪でもいつ起こるかわからない。起こったときにどうするんや、一般市民は行政の責任ちゃうかということ言われますので、その辺のそこをきっちりやってもらわなかんと思います。それと、避難所開設した時に役所の人間が来たときも、それが十分把握されているか、その辺の教育とかそういうのもきっちりしてもらわな収拾つかんと思います。これは私の意見で、こういうのも必要でないかなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○奥野安全安心企画担当課長 安全安心企画担当の奥野でございます。

委員の意見を踏まえまして、今年度はコロナ禍ということで、なかなか防災リーダーさんが集まる機会がなく、こちらといたしましても、例えば、YouTubeを使いながら啓発をさせていただいたところではございます。恐らく、コロナ禍が当面は続くことになるかと思っております。これの収束が見えない中でございますので、いつまでというのはなかなか明言できないんですけ

ども、当面、コロナ禍での避難所運営ということが続く中で、区役所といたしましても、防災リーダーさんへの啓発ですとか、あるいは、職員への啓発も含めまして、積極的に推進してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○山下委員 ありがとうございます。いつもだったら大きな訓練はいつでもできるんやから、こういうコロナの時に、校区の防災担当者、防災リーダーを10人でも20人でも集めて、そういうような講習をするのも一つの手と違うかなと思います。以上です。ありがとうございます。

○堤下議長 はい、その他意見ございませんか。では、出席議員の皆さんよりご助言等ございましたらお願いできますでしょうか。

○笹川議員 大阪府議会議員 笹川です。本日もご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今日は本当に大変重要なご指摘、ご意見を二点いただいたと思います。

予算一覧に関しては、前年度との比較というのは非常に大切なことですし、来年度、皆様に議論していただくにあたっては、何がどう変わったのか、これが非常にわかりやすくするためには、予算事業一覧が大切だと思います。備考欄が今、縦書きになっているのを横にして、ちょっと工夫していただいて、今、いくつか入ってますんで、これぐらいの内容で記載いただいて、次回の本会ででも皆さんに共有いただけたらなと思いますし、これが記録に残るのは非常に大事だと思いますので、よろしく願います。

それと、避難所は本当に大事な一つだと思います。コロナの状況で各地域お困りだと思っておりますので、ぜひ、支援をしていただきたいと思いますので、願います。

区政会議委員の皆さんの本当にご尽力のおかげだと思うんですけども、先日、新聞報道で発表されたライフルホームさんの調査で賃貸で住みたいまちランキングが発表されたんですけども、それで近畿圏で250市区町村あるんですが、東淀川区が8位に選ばれました。住みたいまち駅ランキングでも新大阪が2位で、上新庄駅が6位。これ1,500の駅があります。83位が淡路駅です。これだけ選んでもらえるまちにどんどんなってきているのは、まさに区政会議委員の皆さんのご意見をどんどん活発にさせていただいて、東淀川区役所の方で反映していただいて、このような評価が出ているんだなと思っております。

ただし、買って住みたいまちランキングはまだ42位というところなんで、ぜひこれを益々、皆さんのご意見をですね、区役所の方で反映していただいて、皆様にもさらにご尽力いただいて、良い東淀川区、住んでよかった、住み続けたい東淀川区にしていいただければと思いますので、今後ともどうぞよろしく願います。

本日もありがとうございます。

○堤下議長 いたありがとうございます。

ここからは、進行を事務局にお返しします。

○風呂係長 堤下議長、ありがとうございました。

それでは、これもちまして区政会議を閉会いたします。